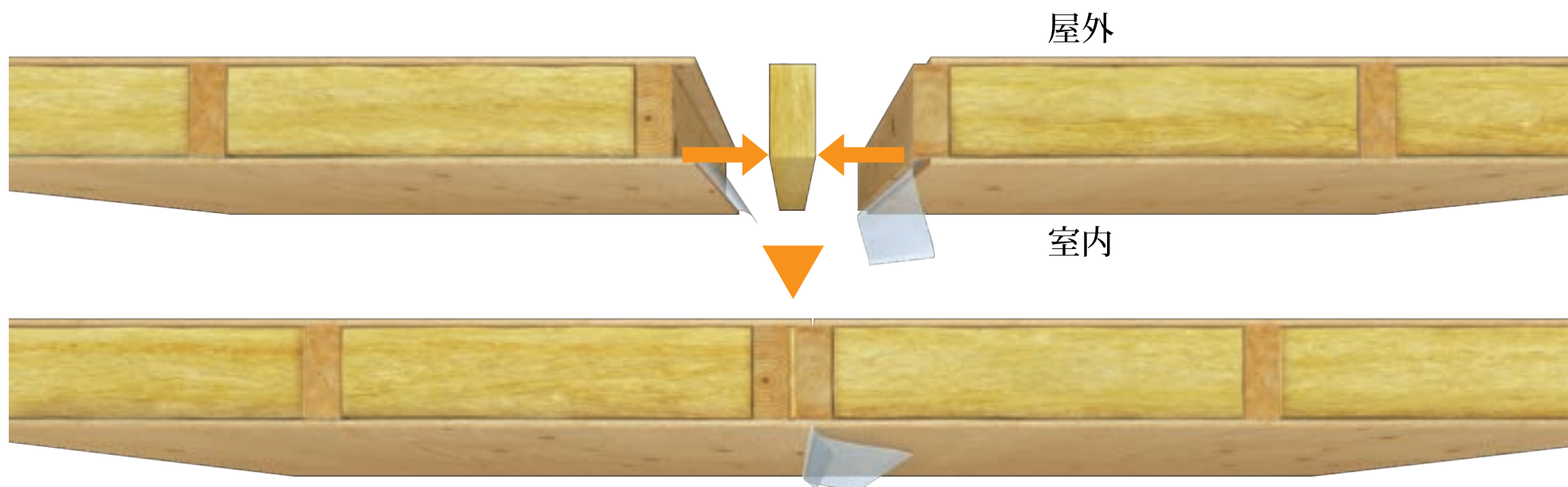


断熱ラインを途切れさせない 接合部も入念にグラスウールを充填。

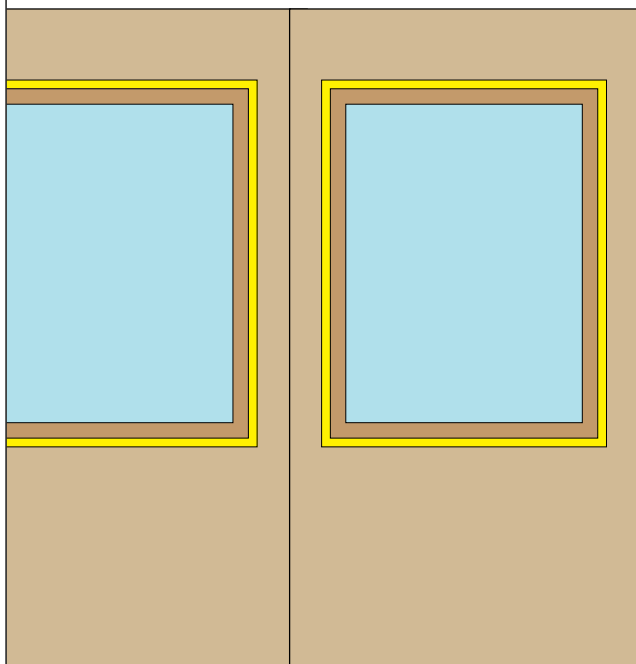
【パネル接合部】

木質パネル同士を隙間なくつなぐことで気密性を高め、充填されたグラスウールを湿気から守り、住まいの性能を長時間維持します。パネル同士の接合部にまで断熱材を挟み込み、断熱が途絶えないようにジョイント。その継ぎ目の上から防湿気密フィルムで覆います。



【窓枠の周囲】

躯体と窓枠の間にもグラスウールを充填し、気密テープで覆います。



【気密パッキン・ガイドレール】

床と壁の継ぎ目には気密パッキンを施工し隙間をなくします。また施工精度を高めるためにパネルの凹部と、気密パッキンの凸部(ガイドレール)をかみ合わせる形でジョイントします。